

# 1年生 R-CAP 説明会



6月22日、1年生を対象とした進路適性検査(R-CAP)の説明会が行われました。講師には、(株)リアセックの伊藤 華余子さんをお招きしました。伊藤さんは、検査結果の見方や効果的な活用法についてたいへん分かりやすく説明してくださいました。

職業適性の項目では、自分には思ってもいなかった職種に適性があることが分かり、驚いていた生徒もいました。

また、伊藤さんは、自分の就きたい仕事の適性がデータ上は低くても、足りない項目を認識して対策を立てることで、適性は向上することを強調されていました。例えば、コミュニケーション能力の項目が低かったとしても、挨拶を丁寧にすることでその能力が向上してくるという話に生徒は驚いていました。R-CAPを通して、自分を客観的に分析し、就きたい職業への適性を向上させることに意味があるという話に生徒は納得していました。

今回は豊富なデータをもとに説明されたので、将来の職業について考えるよい機会になったと思います。高校生である今、自分は何を頑張っておかなければならないのかをよく考え、勉強や部活動に積極的に今迄以上に取り組んでほしいと思います。

## 【生徒の感想】

- 自分がディレクタータイプ（計画を立てて実行する）と分かりびっくりしました。
- 将来やりたいことがまだ決まっていないので、職業に対する適性について教えてもらいよかったです。これを参考にして、進むべき道を決めたいです。
- 保育士になりたいのですが、内気で向いていないかなと心配していました。しかし、今日のお話で適性は変えられということが分かり安心しました。
- 勉強だけでなく部活も大切だと分かりました。そうすれば、パフォーマー（企業などに所属したとき、周りの人達と協力して仕事ができる（組織的））としての素養があがるので、両方頑張ろうと思いました。